

JTAアニュアルカンファレンス2025

『NTT東日本のワークスタイル変革』

NTT東日本株式会社
ビジネスイノベーション本部
北島隆玄

NTT東日本グループが目指すもの



01 Purpose 存在意義

地域循環型社会の共創

02 Vision なりたい姿

SOCIAL INNOVATION
パートナー

03 Mission 使命

地域の課題解決と価値創造、
レジリエンス向上

04 Value 価値観・行動基準

Passion
ー情熱ー

つなぐ使命
共感・協力・感謝
挑戦

Professional
ープロフェッショナルー

お客さま第一・安全第一
DXとデータドリブン
個の成長とチームへの貢献
高い環境意識

Self-realization
ー自己実現ー

ワークインライフ
多様性受容
高い倫理観

NTT東日本がめざすワークスタイル変革

新たな価値創造



ヒトの創造力
(イノベーション力)と
生産性の向上

➡ ワークスタイル変革

働きやすさ

リモートワークを
基本とする働き方

働きがい

自己の成長・適正な評価

- ・人事制度改革
(ジョブ型・自律的キャリア形成・公募制)
- ・ダブルワーク／社外副業
- ・デジタル人材育成

多様性の受容

- ・D&Iの推進
- ・女性活躍(管理者登用)
- ・男性育休の推進

ワークインライフの実現=Well-beingの向上

リモートワークを基本とする働き方に向けた三大改革



制度

環境

意識

リモートスタンダード・フレックスタイムの導入

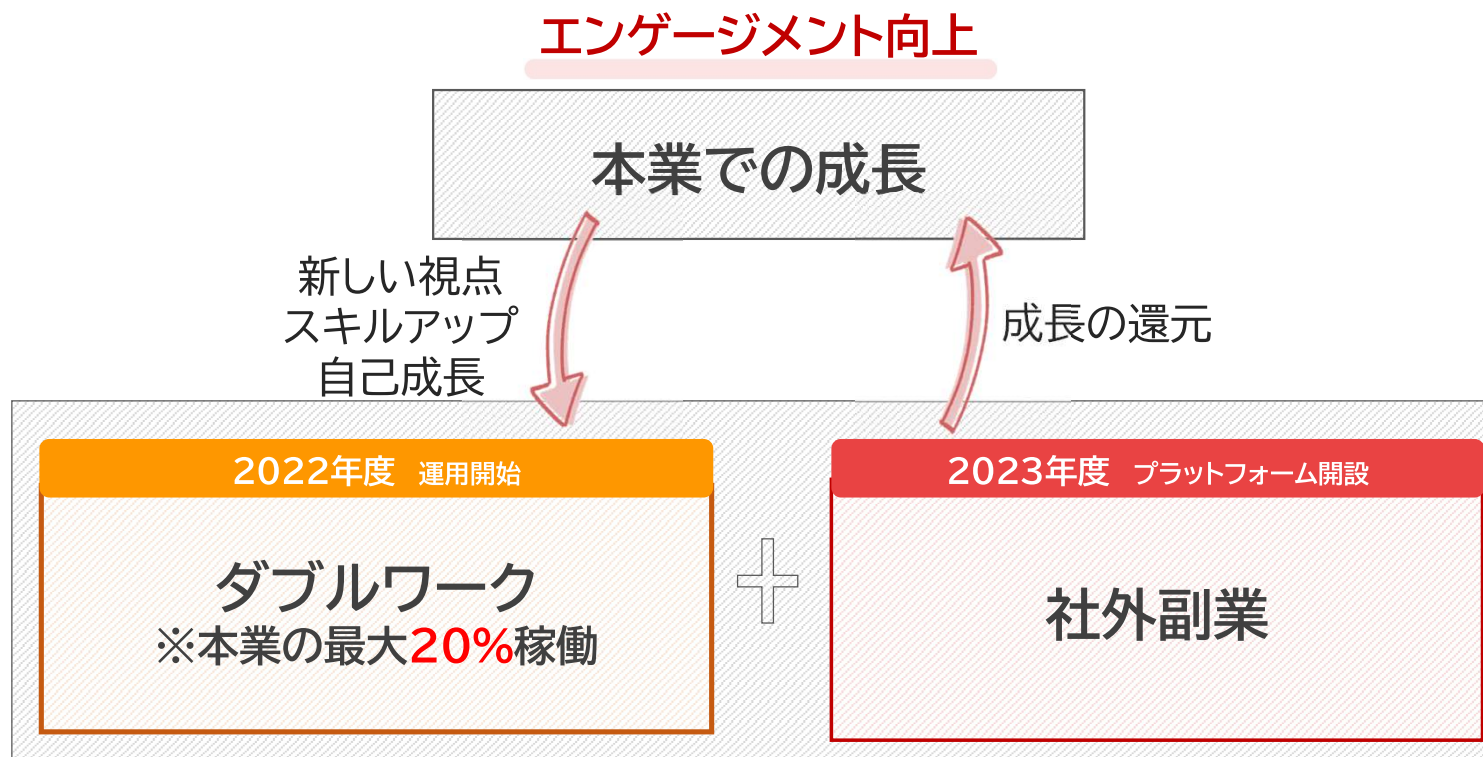
制度



ダブルワーク・社外副業の促進

制度

- 2022年度10月より、**ダブルワーク 開始** ※本業の最大20%稼働
- 2023年度には、**社外副業プラットフォームを開設**



男性の育児休職取得推進

リモートワークの推進により、男性の育児休職取得推進のための土台が出来上がり、ワークインライフの実現につながっている

主な男性社員の声

✓在宅勤務により育児参画機会が増えた

✓リモートスタンダードにより今までより休職を取りやすくなった

✓パートナーからも感謝されている

ワーケーション事例のご紹介

宿泊施設として提供された**社宅**(一部)を利用して
“まち”に長期滞在

仕事をしながら**家族との旅行**や**地域貢献活動**に
取り組み、自身もリフレッシュ

⇒「定住」「交流」でなく、「**関係人口**」※を増やすのがポイント

「ワーケーションin山形」

	新たな働き方	リフレッシュ 地域経済への貢献	地域活性化 地域の課題解決	リフレッシュ 地域経済への貢献
社員本人	 移動／ワーケーション	 山形観光	 dayworkで農作業	 山形観光／移動
	1日目	2日目	3日目	4日目
ご家族	 移動／山形観光	 山形観光	 山形観光	 山形観光／移動



※「関係人口」とは、特定の地域に移住した「定住人口」や観光でなく、地域と多様に関わる人々を指す言葉

(参考) ダブルワークを活用している社員の声

ダブルワークを通じ、過去の経験やスキルを活かし会社へ貢献



これまで営業部で営業・営業企画・代理店営業などの業務を行い、その後総務ラインで若手育成や研修企画業務に携わってきました。現在は企画総務部で秘書業務を中心に行っています。

ダブルワークの取り組み自体は知っていましたが、私にはあまり関係ないと思っていました。ところが突然、成田部長に「これまでの経験を活かしてダブルワークに参加してみないか」と声を掛けられたのがきっかけで、私のことを知っていただいたうえでの声掛けだったためチャレンジしてみようと思いました。

ダブルワークに参加してよかった点

ダブルワーク先では60歳向けの研修企画や運営業務を行い、受講者からのアンケートを確認することで至らなかった点などの気づきや改善点を得られました。またダブルワーク先で気づきを得られたように、自身の業務にも自分がまだ気づけていないポイントがあるのだと思いながら仕事に取り組むことができ、視野が広がりました。

一方で自組織では同じくらいの年齢層が多く、長く同じメンバーで働いています。ダブルワーク先では普段聞かない様々な年齢層の方と触れ合い、若手社員から新たな視点での意見をうけ、気づきや発見を得てとても刺激を受けています。



今後ダブルワークを始める人へのアドバイス・メッセージ

自分のような年代の方にもぜひダブルワークに参加していただき、過去に経験した業務や持っているスキルを活かす場として活用してほしいと思います。

新しいスキルの習得や新しいポジションを目指すための手段として活用するのはもちろんですが、後輩育成や過去の業務経験で得たスキルの継承の場としても活用できると感じています。

自分の持っているスキルや知識を活かしてダブルワーク先で取り組むことで、より本業でも満足感や充実感が得られます。

ぜひダブルワーク先の新たなチームで、業務に取り組むワクワク感や楽しさをダブルワークを通じて体験してほしいです。ダブルワークを通じて後輩育成などスキルを継承することで、少しでも会社に貢献することができればうれしく思います。ぜひそういった視点でもダブルワークに参加してほしいです。

（参考）社外副業を活用している社員の声

サウナライター

「やってみたい！」という気持ちに素直に、挑戦し続けたい



－副業を始めたきっかけ－

副業では、“サウナライター”として活動しており、サウナ施設の紹介記事や、イベントレポートを執筆しています。

そもそも、ライターを始めたきっかけは『書く仕事したい』（著：佐藤友美）という本との出会いです。本書では『ライターは知ることがなかった知識を得たり、会はずのなかった人と出会えることで、強制的に人生が豊かになる』と書かれており、「ライターってなんて楽しそうなんだろう！」と心底やってみたいと思いました。また、その頃からサウナが大好きだったので、ライターになったらサウナ施設取材したいとも考えていました。

－副業を始めてみて思うこと－

まず、本業の見方が変わりました。

副業をする前は、たとえば社内の周知文で「どうしてこんなに細かい言い回しまで考えないといけないのか……」と、正直、煩わしさを感じるときもありました。

ですが、副業でプレゼント企画を立案・実行した際、応募方法がうまく読者に伝わらず、募集数が伸びなかったという苦い思いをしました。

その経験から、一つ一つの仕事を丁寧に、リスクを想定しながら慎重に進めることは、受け手の満足度の向上に繋がるのだと理解できました。

一方で、丁寧に仕事を進める姿勢は大切にしつつも、プロジェクトのスピード感は圧倒的に違うと感じます。

なので、社内でも自分の意見を早期に実現できる機会があると良いと思いますが、その点「スクラム活動」はピッタリなのかもしれません。



リモート環境だけでなくオフィスも変革

環境

フリーアドレス
導入



フロアレイアウト
変更



サテライトオフィス
約100拠点

※2024年1月時点



民間シェアオフィス
約280拠点

※2024年1月時点



時間を有効に使う働き方

通勤・移動時間、空き時間を活用し、自己成長やワークインライフの実現

場所を問わない働き方

仕事をする場所・時間を自らコーディネートする
“自律”した働き方

風通しのよい組織に向けて

職場の協力関係
(コミュニケーション)強化・
社員の士気高揚

ハイブリッドワーク推進

チームでの出社・1on1ミーティング促進
によりコミュニケーション満足度向上

心理的安全性

安心・安全な職場環境の整備

ハラスメント・メンタルヘルス
未然防止に向けた施策展開

業務が非効率

業務のムリ・ムダ削減

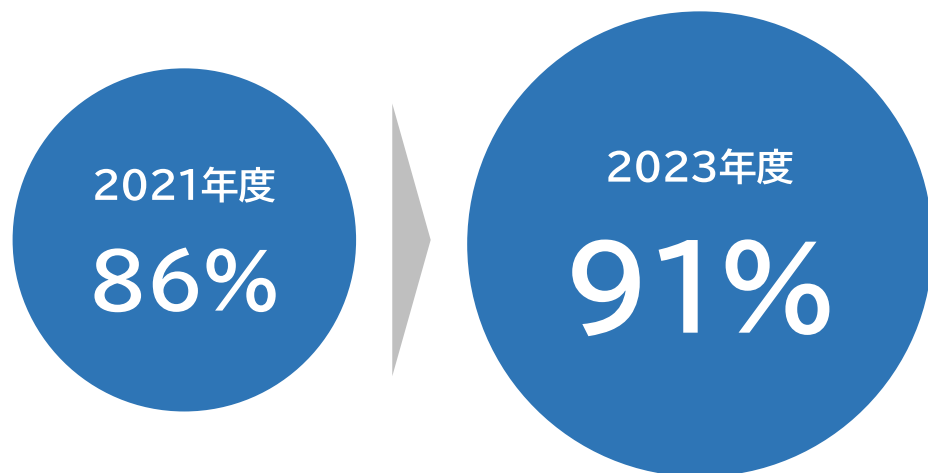
社員の声を踏まえ1,000件の業務改善検討・
35万時間相当分の稼働を削減予定

「生産性の変化」/「自律的な働き方」に関するアンケート結果

問. この1年におけるリモートワークの生産性について、該当するものをお答えください

「上がった」または「維持できている」と回答した社員**90%超**

※n=約25,000人

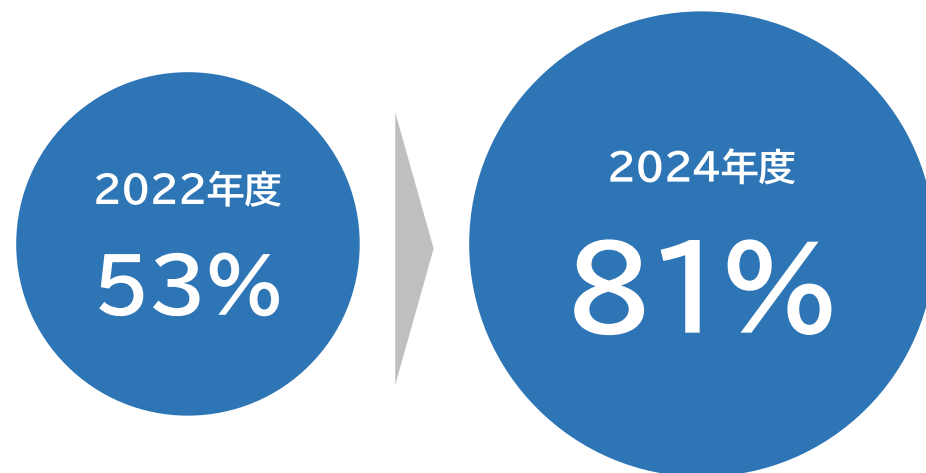


生産性が上がった／維持できている

問. あなたは自律的に働き方(リモートや出社またはフレックス制度)を選択できていると思いますか？

自律的に働き方を選択できていると回答した社員**80%超**

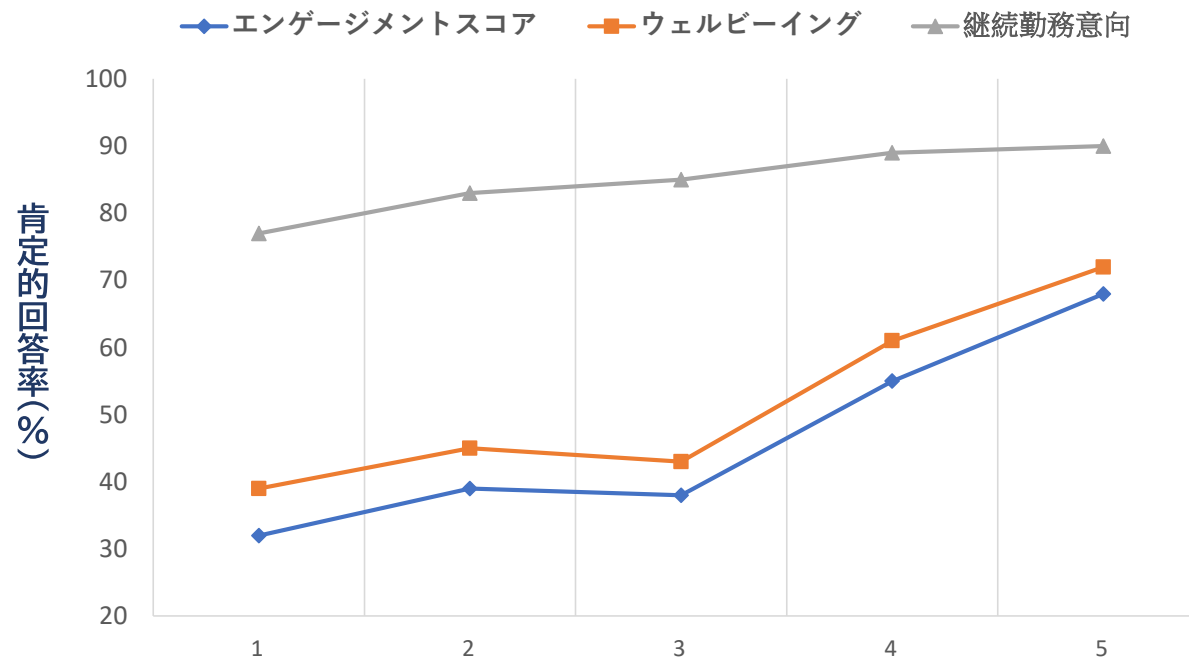
※n=約25,000人



自律的に働き方を選択できている


「自律的な働き方」と「エンゲージメント」の関係

自律的に働く場所を選択できている社員ほど、エンゲージメント・Well-Being・継続勤務意向 において高い数値になっている

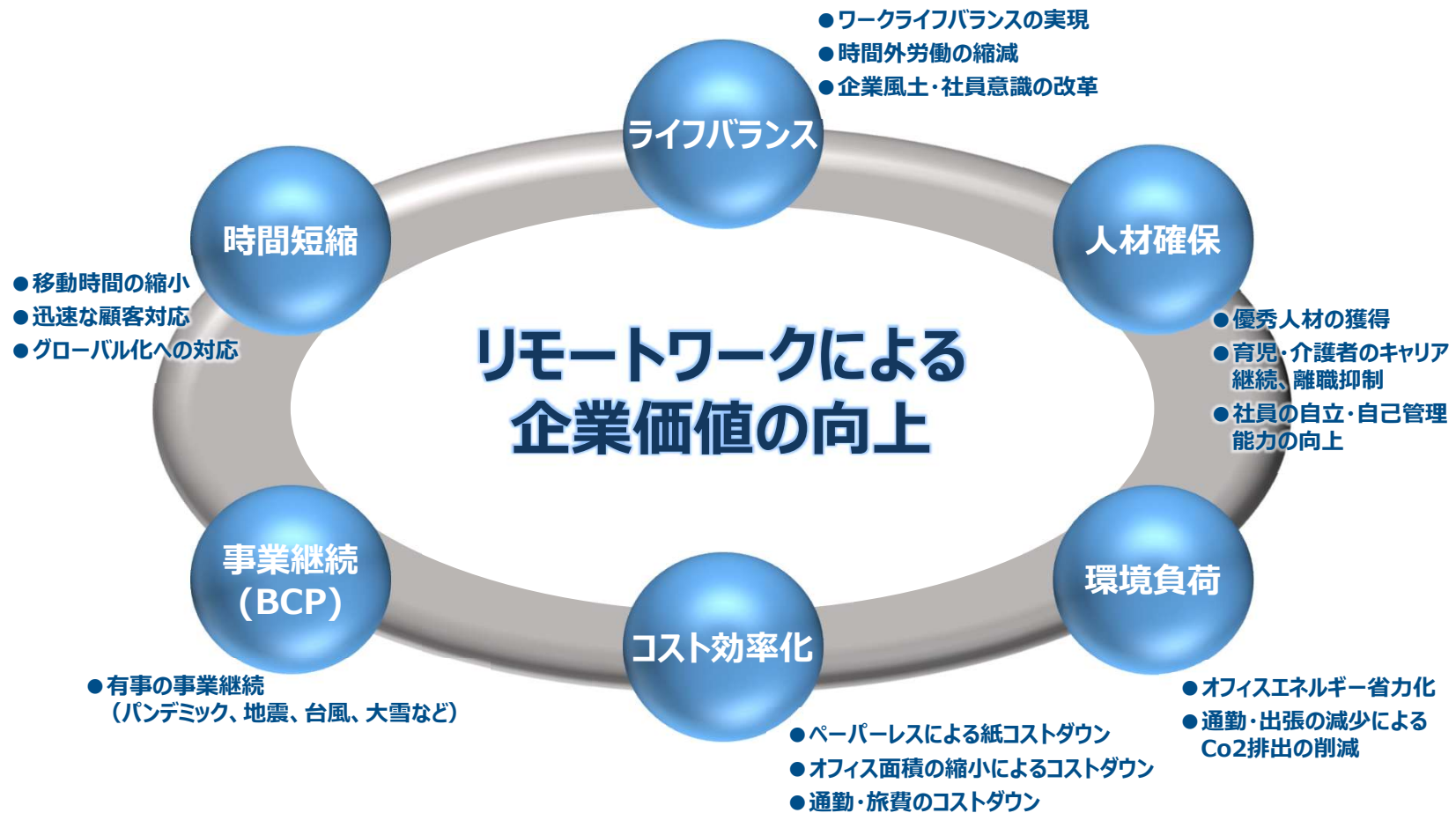


⬇️ できていない ← 自律的に働く場所を選択 → できている ⬆️

ワークスタイル変革による効果

調査項目		調査結果 ※（ ）内対前年				
 人材多様性		リモートワーク推進期			リモートワーク定着期	
		2019年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	復職後全日制勤務者比率	42%	53% (+19%)	61% (+8%)	58% (▲3%)	63% (+5%)
	女性管理者比率	7%	10% (+2%)	11% (+1%)	13% (+2%)	14% (+1%)
	男性育児休職取得率	集計なし	57% (+1%)	79% (+22%)	103% (+24%)	149% (+46%)
	女性活躍度ランキング (日経Woman)	調査なし	83位 (17UP)	63位 (20UP)	38位 (25UP)	19位 (19UP)

全国に働き方の自由度を



NTT東日本が考える10年後の働き方

すべての人が多様な能力・スキルを
時間・場所・組織にとらわれず発揮
できるデジタルでWell-beingな
ワークスタイル

社会・企業にとっても
持続的な成長が可能に!!

コミュニケーション
の充実

ヒト中心の
創造的な業務

現地業務の
安全強化

ワークスタイルの
セルフマネジメント

リモートワールド
デジタルワークプレイス

ヒトの可能性は無限大

やる気・働きがい向上
による幸福度アップ

組織の生産性・創造
の向上
→事業の拡大・成長

